

折に触れ 四字熟語

NO. 248 『天変地異』 てんぺん ちい

< 意味 > 天地間に起きる自然の災害や、変わった出来事のこと。

表 言 : 天変地異の前触れ

用 例 : 慶長の初めには疫病が流行り、天変地異がつづいた。こんな事を仏僧や神官が神仏の怒りとして持ち出さずにはおく訳はなかった。<長与善郎・青銅の基督>

語 釈 : 「天変」は天空に起こる変動のこと。異常気象やそれによってもたらされる災害で、日食・隕石・彗星・暴風・大雨などをいう。「地異」は、地震・津波・火山の噴火など地上ではつせいする異変のこと。

一 言 : 2月の初めにトルコ・シリアで大きな地震が起き多数の死傷者が出ています。その他地球温暖化が原因ともいわれる災害は、大雨、暴風雨、洪水、干ばつ、大雪などなど枚挙に暇がありません。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」